



京都路地入

Kyotologie



吉田山に市バス203系統で向かいます。

もちろん”吉田山”なんて言う停留所はありません。

吉田山の周りをぐるっと囲んでいくつものバス停があります。

今日は”浄土寺”で降ります。



”走る文化遺産”

このバイクがこの国の発展にどれだけ貢献したのか。



今日は暑いですから、水分補給、十分なさってくださいまし。
ここで、運転手さん交代です。



看板があるはずなんですが見当たりません。
とりあえず登ってみることに。



階段の途中にこんなエントランスの家が。

いいなあ。



登ったところで振り返ると、大文字が見えました。
八月の送り火だけではなくて、四季折々の大文字があるんだな。



なんと言う”守っている感”。
だあれも落としまへん、みたいな。



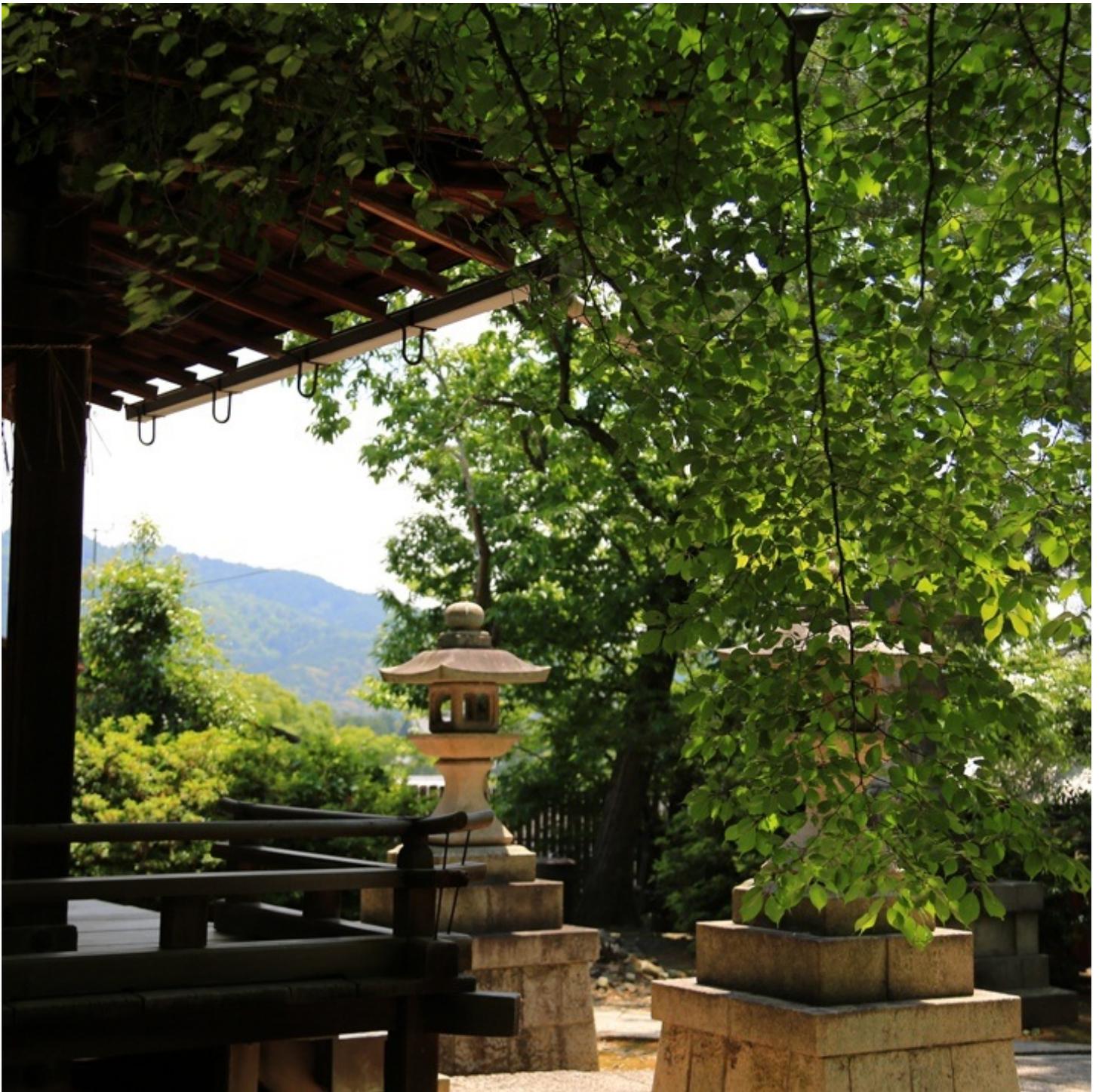
あれ？
なんで神社。
もうほとんど頂上なんですけど。

また道に迷いました、、、、。



竹中稲荷社だそうです。
お稲荷さん、鳥居並べるの好きなんですかね。

な、こと悠長に言うてる場合ではないです。
お腹すいてきました。



青葉綺麗です。

お腹すいた、、、。



吉田山といいます、神楽岡という別名もあるそうで、
高さもそんなものなのですが、雑木林で覆われているので
いま、どのあたりにいるのか外の景色が見えません。



けれども吹く風がとても心地よいです。
気候的には京都は5月が最高です。



標識が。一旦、今出川に向かうことにします。



今出川通に出ました。
なんだか、歌舞伎役者の顔みたい。

この鳥居はコンクリート製です。
コンクリート製の鳥居は、僕的には”鳥居もどき”です。



裾野をぐるっと迂回中。

このあたりは京都には珍しく、斜面に立つ家が多い地域です。

そうすると、ちょっと雰囲気違いますね、やっぱり。



看板ありました。しかも、結構目立つやつ。
最初この通りに出たときに、逆方向に行ってしまったわけです。
おかげで、登ったところで振り返って、大文字をみれたわけですから、
想定通りの行動パターンと言えます。



もう一回登ります。





古い家並みと、時代を感じさせる通り道。

静かです。

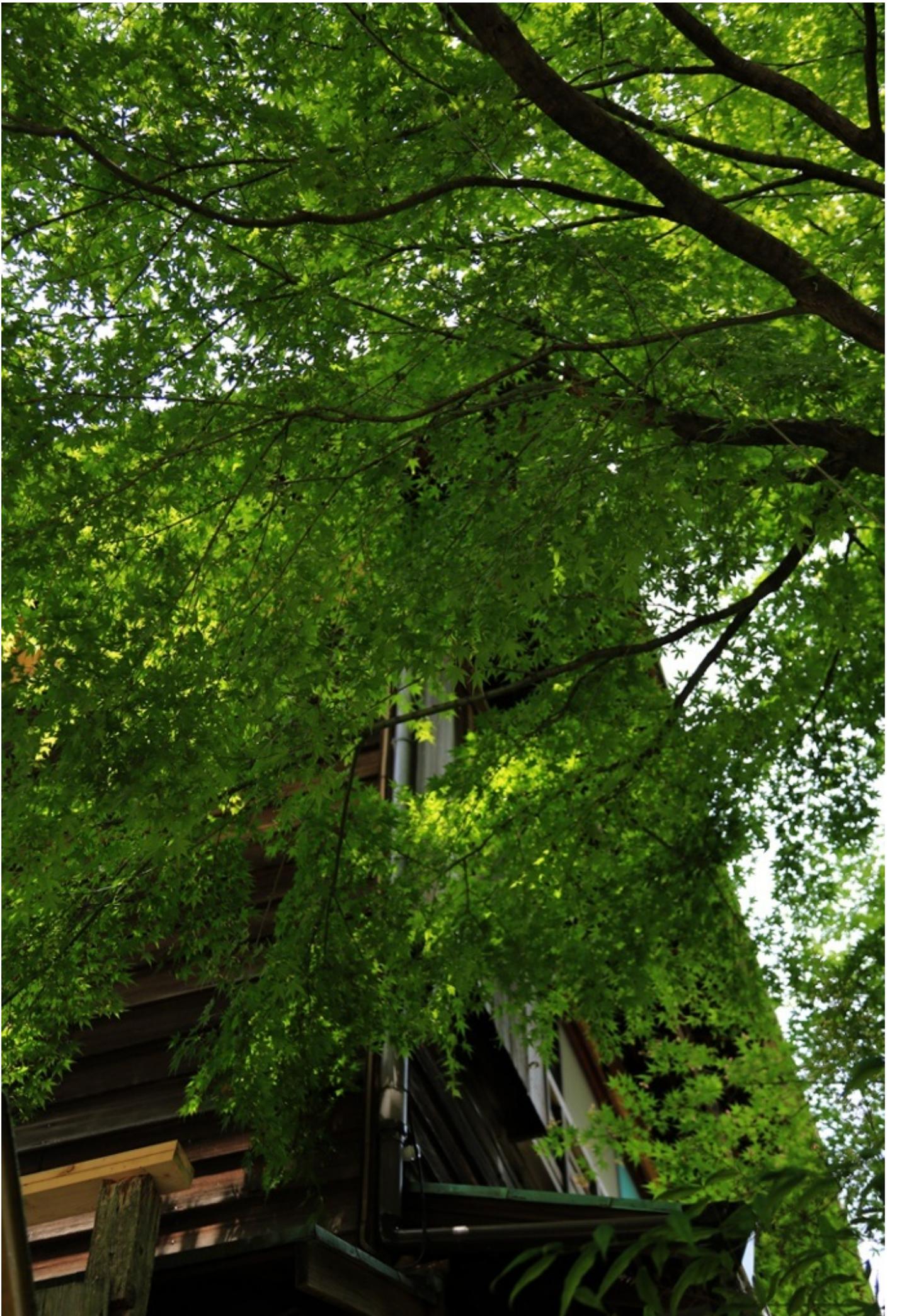
会話を汚す騒音がありません。

こんなところに住んでみたい。





青もみじ



”あおぎ見て 何をかいわん 青もみじ”



夏至の前後と考えれば、八月の日差しと変わらないはずなのに、五月の葉影は柔らかいです。



どうやらここが入り口ようですが、、、







ここはまだ、一般のお宅らしいです。



ええっと？

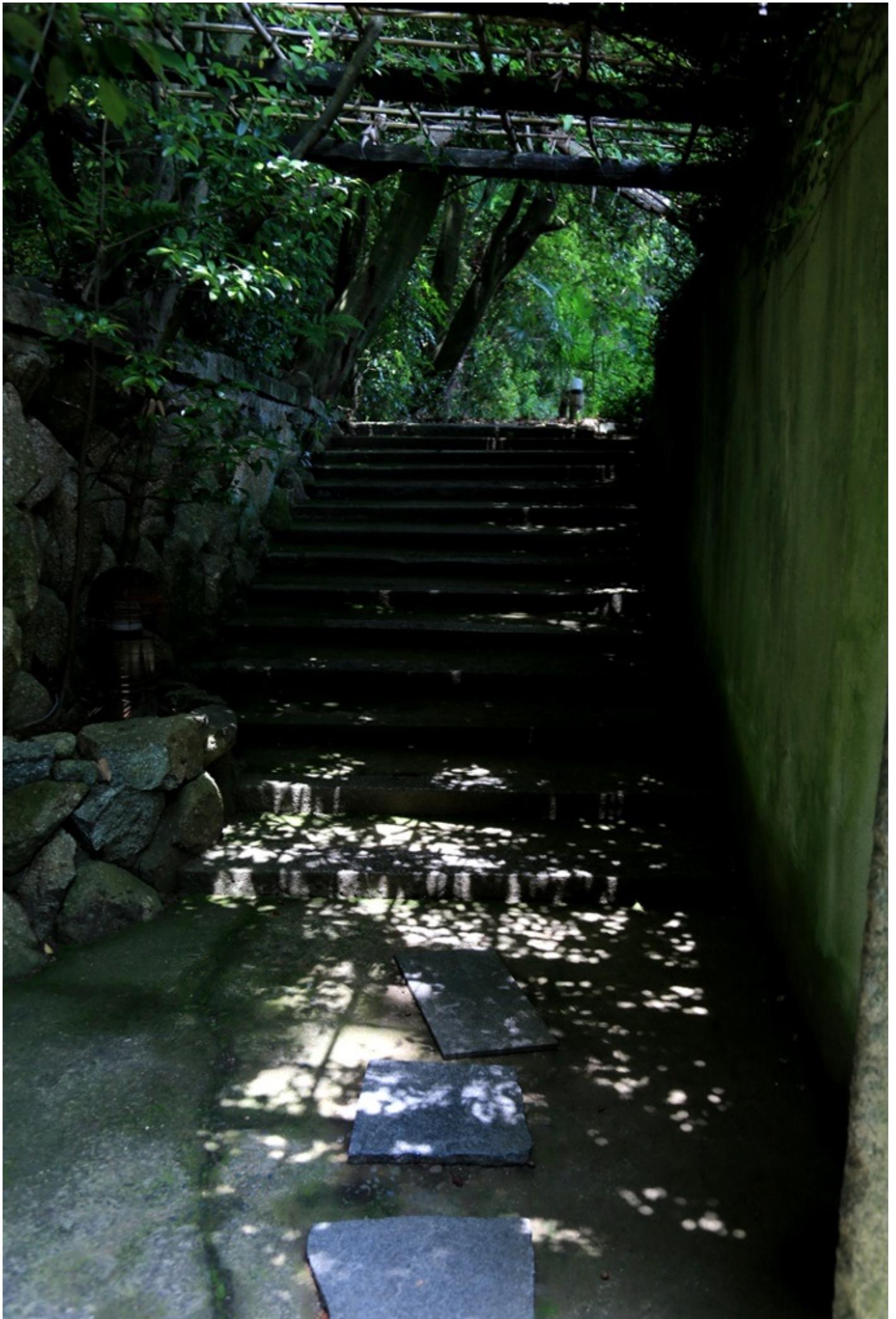
わたし、←方向から来たんですけど。



ををっ、さっき標識を見つけた左手に
入り口があったんですね。

また彷徨うところでした。

雨水用の側溝に引き寄せられた僕が悪いんですけど、
”どうせなら ここに矢印 つけといて”







途中、別棟が2軒ほどありまして。



見えました。なんだか、昔の小学校のようです。
それと人の声が結構する。

窓開けてるからだなあ。
街中だと窓を閉ざしてエアコン。
ああ、なんだかワクワクするよー。

お腹すいた。



11:30の開店時間を目指していたんですけど、
迷ったせいで12:15

一階でしばし待ちます。
二階へは靴を脱いで上がるようです。



二階です。緑の中を行く屋形船のようです。

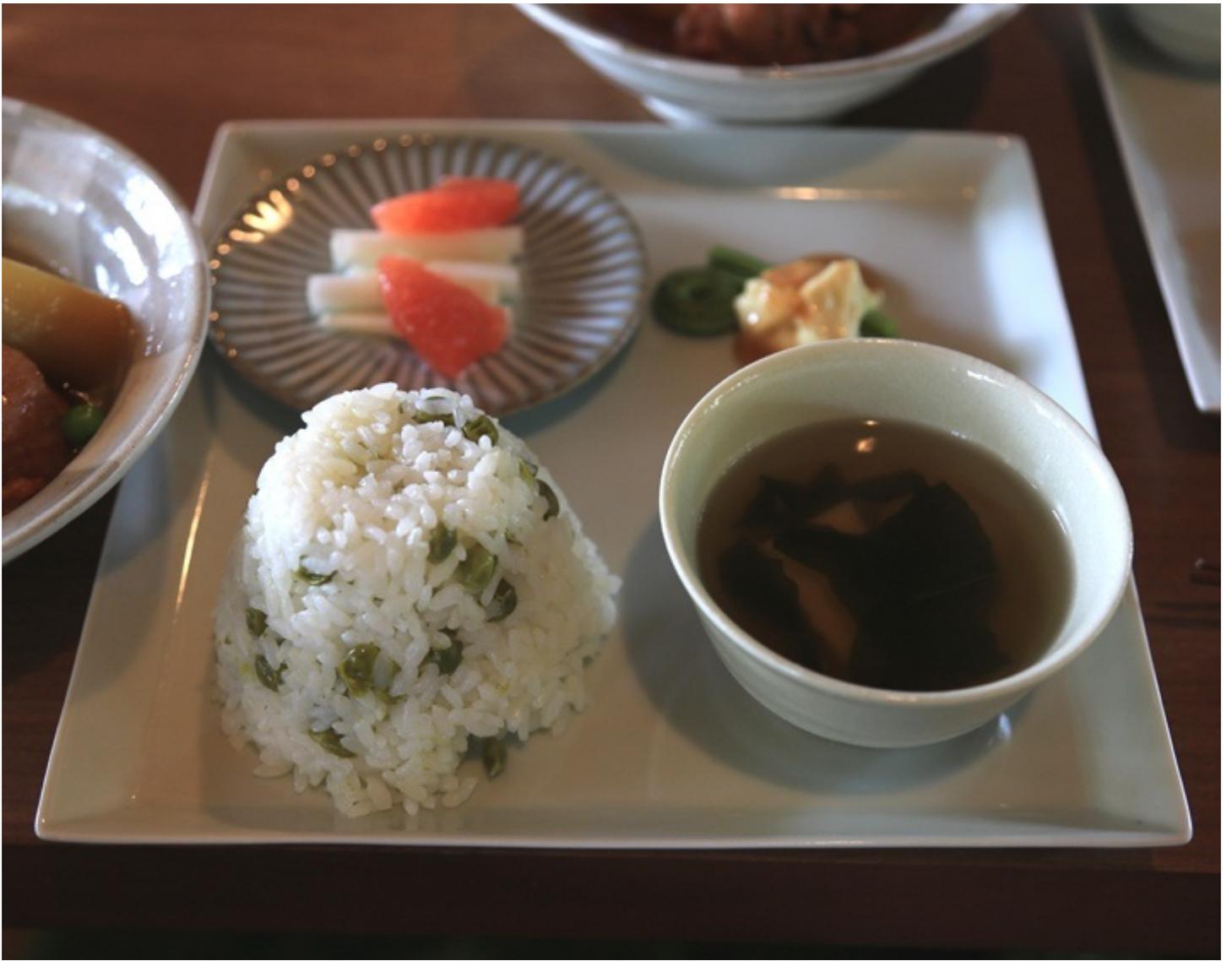






ランチを注文しました。
鶏のももと新ジャガとネギの炊いたん。
スナップエンドウ添え。

京都らしい甘めの味付けで、良く浸みています。
鶏肉が箸でほぐせるぐらい柔らかか。



はんなりとした塩味の豆ご飯
筍とわかめのお吸い物
こごみと湯葉のあんかけ
うどとレッドグレープフルーツの酢の物



窓際の席もいいなあ、、、あくまでも、も、です。
真ん中のソファ席もすごく座り心地いいです。

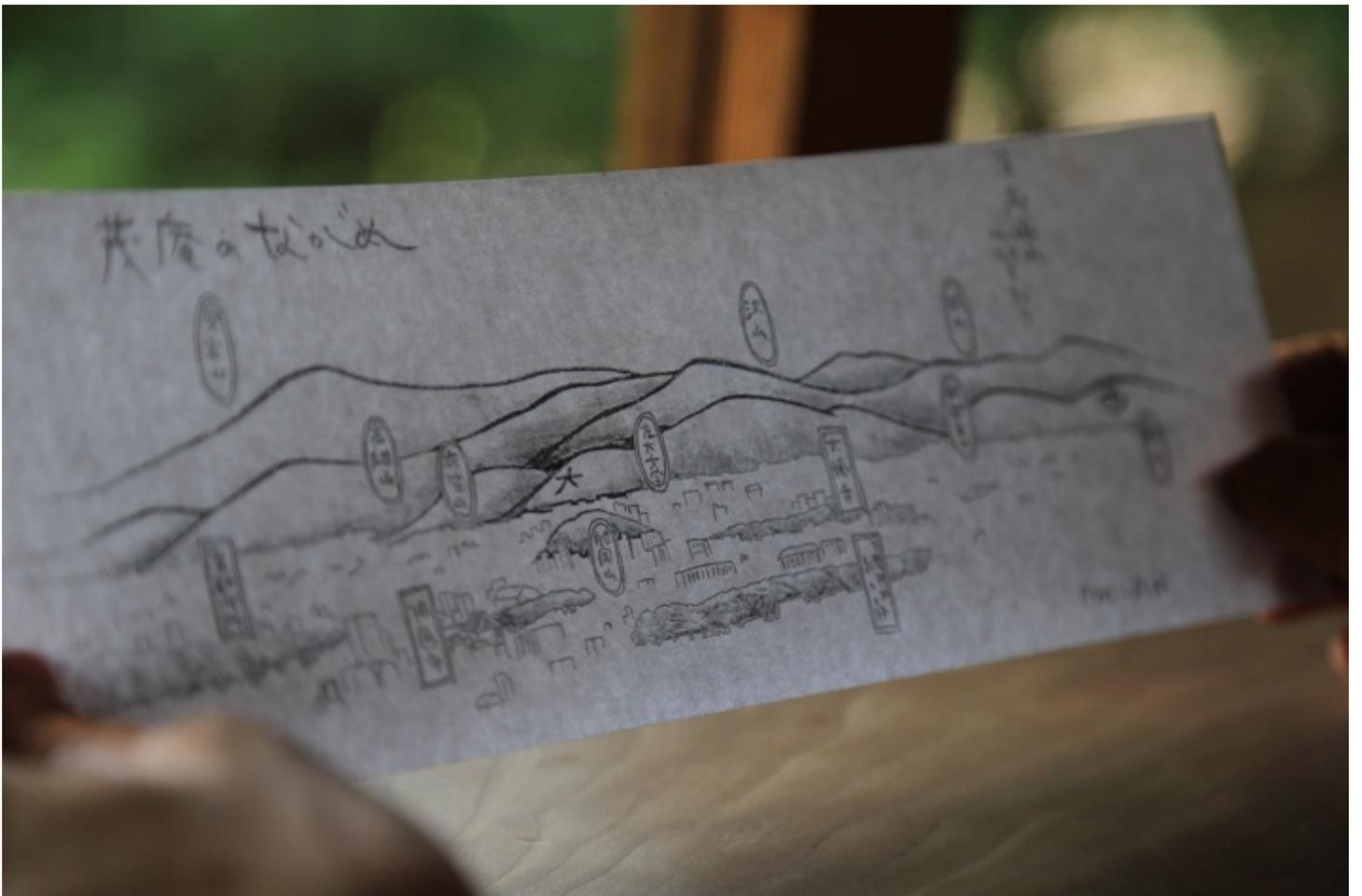
と違ってたら、空いたので移られますか？と。



あらためてパチリ。
美味しそうですね (笑)



こういう配置です。









あまりにも風が気持ちいので、もう少し長いしようと
飲み物を頼みました。

同行者のアイ스티ー。



僕はいつもの通り、ホットコーヒー。
珍しく、音楽を流さないお店です。

鳥の声、風の音、おしゃべり、、、
いつもは、食事が終わると席を立ってしまうんですが
この日だけは時間を気にせず座っていました。





お昼を過ぎて、少し空き席ができてきました。







老若男女、いろんな国籍の人が
ひと時を楽しんで、席を立って行きました。

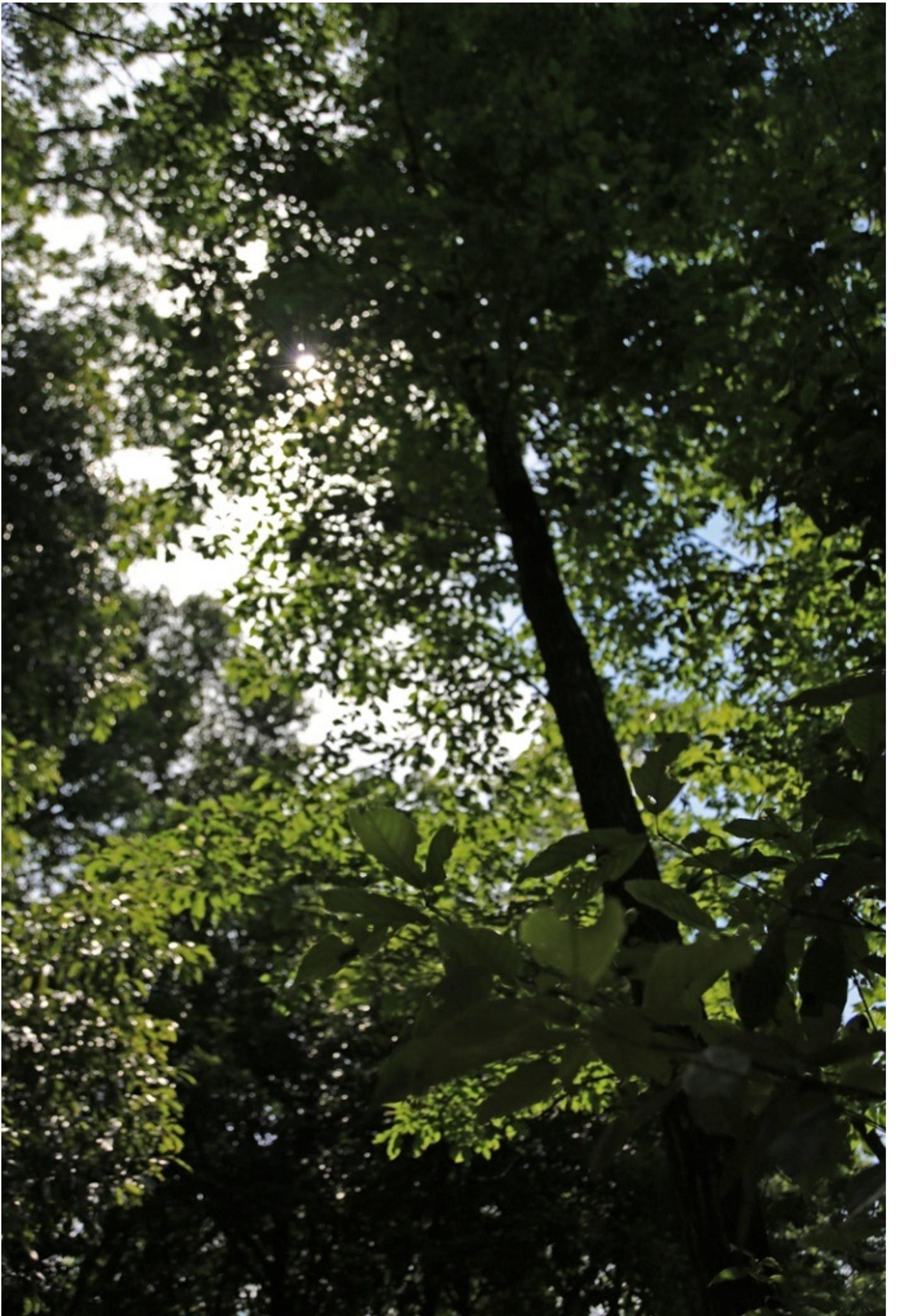




ごちそうさまでした。







山を下ります。



吉田神社の石段。あぶないぞ。



あぶないゆーたやん。

[サマータイム・ブルーズ2](#)

[京都路地入-kyotorogie](#)

[桜守りの庭 後編](#)

[Travelogue ep.6 嵐電 後編](#)

[Travelogue ep.6 嵐電](#)

[梅催い、雨模様](#)

[「passer un après-midi 10午後の過ごし方」](#)

[冬の手紙2](#)

[冬の手紙](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+4.5](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+4](#)

[ilminaria 2](#)

[ilminaria](#)

[Flower Garden II](#)

[Travelogue _ ep.05 山へ行く](#)

[Flower Garden](#)

[Travelogue _ ep.04 蓼科へ](#)

[passer un après-midi 9 午後の過ごし方」](#)

[Monochrome](#)

[passer un après-midi 8 午後の過ごし方」](#)

[passer un après-midi 7 午後の過ごし方」](#)

[空と菖蒲と、蓮と](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+3<](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+2](#)

[Travelogue _ ep.03 近つ淡海](#)

[passer un après-midi 6 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都水族館はペンギンで一杯です」](#)

[「passer un après-midi 5 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+1」](#)

[Photo 「花水硝」](#)

「passer un après-midi 4 午後の過ごし方」

Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou」

「passer un après-midi 3 午後の過ごし方」

Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです Qu」

「passer un après-midi 2 午後の過ごし方」

Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです nYa」

「passer un après-midi 午後の過ごし方」

Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」

「Travelogue ep.02 桜巡り」

ー 僕カノシリーズ ー バックナンバーズ

「僕が彼女に殺された理由（わけ）」

「僕と彼女の選択の事由（わけ）」

「僕と彼女はそれしか答えを見つけられなかった」

「僕と彼女はそれでも答えを探し続ける」

「僕と彼女と複雑な関係者たち」

「僕と彼女と単純な関係式」

「僕と彼女と校庭で」

「僕と彼女と校庭で 夏」

「僕と彼女のアリア」

「黄金の麦畑」

1.Largo

2.Allegro molto

3.Adajo

「黄昏の王国」

イーリアス編

アリシア編

Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」

Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mu」

「Travelogue ep.01」

Photo「Hina」

Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです itu」

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです yo」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mi」](#)

[Photo「からくれないに ni」](#)

[Photo「bleu,jaune,vermillion」](#)

[Photo「H.45」](#)

[Photo「Fly me to Paris I～XIV」](#)

[Photo「祇王 こけのころも」](#)

[Photo「空と雨と6月と」](#)

小説

[「ネガティブズ2」](#)

[「ネガティブズ」](#)

[Photo「空と僕と自転車とni」](#)

[Photo「空と僕と自転車と」](#)

[Photo「空と椿と木蓮と、そして花水木」](#)

[Photo「空と雲と、ぜんぶ鳥のいたずら」](#)

[Photo「空と雲と、ときどき春の野に行く」](#)

[Photo「空と月と、夜桜デート」](#)

[Photo「空と木と、ときどきの梅暦」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです ni」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです」](#)

[Photo「空と木とたまに月」](#)

[Photo「からくれないに」](#)

[Photo「空と雲と、ときどき月」](#)

[Photo「夢みる桜」](#)

— その他 —

[傘がない](#)

[夕暮れの赤ちょうちん](#)

[いもうと](#)

[サマータイム・ブルース](#)

[危険なドライビングマジック](#)

[デフラグメント](#)

インフルエンス あのころの僕たち

花舞い、名残り雪

詞画集「ただ憧憬だけを」

画集「彼と彼女の表紙画集」